

The 12th Session of the Asia-Pacific Regional Space Agency Forum

APRSAF-12

“Maximizing Space Benefits for the Society”

www.aprsaf.org

第12回アジア太平洋地域宇宙機関会議

平成17年10月11日(火)～13日(木) 会場：北九州国際会議場

主催：文部科学省 MEXT / 宇宙航空研究開発機構 

—— 分科会 ——

地球観測／通信衛星応用／宇宙教育普及／国際宇宙ステーション (ISS)

問い合わせ先

APRSAF事務局 (JAXA国際部内) Tel. 03-6266-6236 Fax. 03-6266-6908 E-mail: secretariat@aprsaf.org

APRSAF (アジア太平洋地域宇宙機関会議)とは

APRSAFは、アジア太平洋地域における宇宙利用の促進を目的として、この地域の宇宙機関や宇宙利用ニーズを有する行政機関・国際機関の参加の下、各国の活動や将来計画に関する情報交換、並びに具体的な協力活動の構築に向けた議論を行う国際会議です。

1993年に第1回 APRSAF が日本で開催され、それ以降毎年開催されています。

ここ数年は、マレーシア、韓国、タイ、オーストラリアと海外で開催してきましたが、本年10月に開催される第12回 APRSAF は、5年ぶりの日本開催となります。

APRSAF を通してこれまで、地球観測衛星データを災害管理や資源管理に用いることを目指したプロジェクトや、宇宙の題材を用いた青少年の啓蒙を目的とした宇宙教育フォーラムなどを、アジア太平洋地域の国々と協力して実施してきました。



APRSAF-12 (第12回アジア太平洋地域宇宙機関会議) 開催概要

第12回 APRSAF のメインテーマは、“**Maximizing Space Benefits for the Society**” 宇宙からの恩恵のさらなる社会への還元 です。災害リスクの低減や人々の生活の向上、そして次世代を担う青少年の育成に向けて、宇宙をさらに活用していけるよう、4つの分科会（地球観測、衛星通信応用、教育普及、国際宇宙ステーション(ISS)）で議論が行われます。

特に今回は、昨年末のインド洋での地震・津波災害をはじめとするアジア各地での災害被害を教訓として、宇宙システムを防災に役立ていくための協力プロジェクト等について検討を行う予定です。災害の影響を直接受けない人工衛星は、地上システムとの連携により、災害管理、情報収集・伝達において安定した高い信頼性を持つツールとなる可能性があります。アジア太平洋地域諸国の協力・連携により、こうした人工衛星を利用した災害危機管理のためのシステムを実現することが望まれています。

開催日 平成17年10月11日(火)～13日(木)
場所 北九州市 北九州国際会議場(北九州市小倉北浅野 3-9-30)
総合議長 宇宙開発委員会・松尾 弘毅委員長代理
主催者 文部科学省(MEXT)／宇宙航空研究開発機構(JAXA)

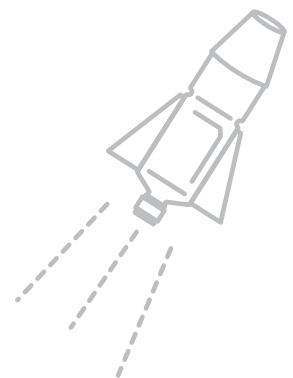


(左より) 宇宙開発委員会・松尾委員長代理、文部科学省・森口研究開発局長、JAXA・立川理事長

SIDE EVENT

APRSAF 国際水ロケット大会

開催日 平成17年10月15日(土)
場所 北九州市 延命寺臨海公園野球場(北九州市小倉北区赤坂海岸1番)
主催 文部科学省/JAXA
協力機関 北九州市、日本宇宙少年団(YAC)本部、YAC 北九州/福岡支部
参加者 アジア・太平洋各国代表の中学生約10名と、九州各県代表、YAC 北九州・福岡支部の中学生
競技内容 参加者自らが製作した水ロケットを、如何に正確にターゲットに近づけて打ち上げられるかどうかを競います。



<お問合せ先>

APRSAF事務局(JAXA国際部内) 担当：落合、金子 Tel. 03-6266-6236 Fax. 03-6266-6908 E-mail: secretariat@aprsaf.org